



# しっぽもひと役



【学校教育目標】やさしさと思いやりで、笑顔がいっぱい  
～本物の笑顔あふれる山里小～

長崎市立山里小学校 校長 山崎直人

## 「SDGs」って何だろう？



近年、このマークを見かけることが多くなったと感じられませんか。ご存知の方もいらっしゃるでしょう。「SDGs (エスディーズ)」のロゴマークです。

SDGsとは、人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき目標のことです。2015年に国連サミットで採択されました。

Sustainable (持続可能な) Development (開発) Goals (目標) を略してSDGsと呼ばれます。

実はこのSDGsが目指すものと、学校教育とは深い関連があると捉えています。昨年度から学校教育は、文部科学省が示した新しい学習指導要領という指針に則って進められています。その学習指導要領が目指すものも、2030年以降の予測不可能な世界、答えが一つではない社会でたくましく生きる力を身に付けさせることにあります。

つまり目の前の子供たちが大人になって社会を創造していくための学びを、今から始めていこうとしているのです。

そこで6年生を対象にしてオリジナルの資料を作成し授業を行いました。

ロゴマークを見たことがあったり、SDGsという言葉聞いたことがあったりする子は多かったです。中にはとても詳しい子もいました。きっとご家庭で話題に上っているのでしょう。

大まかな解説をしたあと、17の目標を一つずつ巡りながら目標の確認と何が世界の問題なのかに触れてもらいました。興味をもった目標を見付け、もっと知りたい、調べてみたいという意欲があり、伝わったことを感じました。

学習のまとめとして3つの大切なことを伝えました。

- ① 知ること
- ② つながること
- ③ 対話をする

今の当たり前の中生活の中では、世界の問題などとても想像できないこともあるでしょう。それでもまずは「知ること」が大事です。

そして、「Think Global Act Local」という言葉があるように、世界規模のことを考え、それぞれの地域で活動することができるはずです。つまり自分たちの生活に「つなげる」のです。

一つの例が、南山中学校の2年生から依頼のあった「服のカプロジェクト」への参加です。彼らもSDGsの理念に共感して動き始めたのだそうです。また、本校の平和活動も確実につながっています。今行っている活動や一人一人の意識ある行動が、きっと世界とつながっているはずだという実感は大切でしょう。

活動や取組の中では、立場や視点によっては、異なる意見が生まれることもあるかもしれませんが、多様性は大切にされるべきです。そこで重要なスキルが「対話力」です。自分たちとは異なる考え方もまずは受容する、そのうえで、接点を探したり、新たな価値を見出したりする力をもってほしいと思います。

新たな世界に触れるために、キャリア教育と関連させて、11月30日に外部講師を招きます。ミュージシャンの「上奥まいこさん」です。「平和・音楽・SDGs」をテーマに歌とお話を5・6年生にさせていただきます。楽しみです！授業参観も兼ねますから関係保護者の皆さまも一緒に新しい教育の形を体験してください。